

政策	II 夢のふくらむ港・環境にやさしい港	施策推進 責任者	港営部長・企画調整室長
施策	4 良好な港湾環境の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういう状態にしたいのか)	水域の適正な管理が行われ、港湾における環境負荷が低減するなど、自然環境、生活環境、地球環境などさまざまな面で環境を守り環境にやさしい港
	サービスの対象物(何を)	港湾のあらゆる機能への環境配慮や自然環境保全の取組		
展開①	水域の適正な管理	港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全	展開②	名古屋港管理組合業務や港湾物流における温室効果ガス排出量を削減するため、環境負荷の低減や自然環境保全に取り組むとともに、PR活動を実施します。
	放置艇による問題を解決するため、関係機関や利用者との調整、係留保管場所の確保及び地域の実情に照らした規制によって、名古屋港の水域の適正な管理に取り組めます。			
展開③				長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保 港内で発生するしゅんせつ土砂の処分場の確保を進めるとともに、廃棄物処理に関わる埋立地の整備を引き続き進めます。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	25年度	26年度	27年度	目標値	27年度の 状況	27年度実施事業に基づく評価結果		
			上段: 指標 目標値	中段: 指標 実績値	下段: 事業費(各年度・人件費込・国費除く)			28年度以降の方向性		事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
								成果	コスト	

【展開①】水域の適正な管理

施04 事101	放置艇対策の推進 (プレジャーボート対策担当)	巡視及び行政指導を 行った回数 【単年度管理型】	-	24回	24回	24回	目標値 を上回る	継続	維持	維持	・放置等禁止区域の拡大指定に伴う放置艇等の移動・撤去を 確実にやっていく必要があるため。
			23回	30回	54回						
			15,444千円	41,835千円	76,183千円						

【展開②】港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全

施04 事201	第3次名古屋港管理組合 地球温暖化対策実行計画の推進 (環境担当)	環境に配慮した取組の 達成状況 【進行管理型】	-	13項目	15項目	18項目	遅れ	継続	拡大	維持	・環境マネジメントシステム(名管EMS)の運用を行い、取組 の更なる改善を図りながら、継続的に環境負荷の低減を図る 必要があるため。
			11項目	11項目	12項目	28年度完了					
			4,380千円	3,524千円	4,460千円						
施04 事202	港湾環境啓発活動の推進 (環境担当)	パンフレット等の受取人数 【単年度管理型】	-	1,100人	1,100人	1,100人	目標値 を下回る	継続	拡大	維持	・環境啓発活動は、より効果的な手法の検討を行いながら、 継続的に取り組む必要があるため。
			1,027人	1,004人	645人						
			2,709千円	3,032千円	2,862千円						

【展開③】長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保

施04 事301	稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進行管理型】	-	100.0%		100%(累計)					
			67.7%	100.0%		26年度完了					
			2,736,307千円	1,923,491千円							
施04 事302	しゅんせつ土砂処分場の確保 (企画担当)	しゅんせつ土砂処分場計画 の策定までの状況 (全4工程) 【進行管理型】	-	2工程	2工程	4工程(累計)	やや 遅れ	継続	拡大	維持	・国によるしゅんせつ土砂処分場計画の早期の策定に向け て、国などと協力しつつ、関係者と鋭意調整を図っていく必要 があるため。
			1工程	1工程	1工程	30年度					
			3,066千円	3,083千円	3,122千円						
		施策コスト(合計)	2,761,906千円	1,974,965千円	86,627千円						

3. CHECK(成果目標の状況・27年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等	年度			目標値 [30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
		25年度	26年度	27年度		
放置艇の隻数	(仮目標値)*	隻	-	(1,016)	(982)	・放置艇対策の推進については、放置等禁止区域の拡大、本組合が行う巡視・行政指導により取り組んでおり、順調 に進捗しています。
	実績	隻	1,050	930	800	
名古屋港管理組合 温室効果ガス総排出量の削減率	(仮目標値)	%	-	(3.0)	(4.0)	・温室効果ガス総排出量の削減率については、公用車のエコドライブや港務艇等の経済運行、節電などの取組に加え、 名古屋港埠頭(株)への業務移管に伴う現場事務所の廃止や燃費効率の高い小型船舶の利用等により、基準年度 (平成23年度)より16.4%の削減となりました。
	実績	%	1.9	7.5	16.4	

注:名古屋港管理組合温室効果ガス総排出量の削減率は、28年度を目標年度としております。

* 仮目標値 = 初期値(25年度) + $\frac{\text{目標値(30年度)} - \text{初期値(25年度)}}{5\text{年間(政策体系期間)}} \times 25\text{年度からの経過年数}$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)

(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)
 適正・見直しが必要

4. ACTION(課題・28年度以降の取組方針)

27年度に取り組んだ内容		課題	28年度以降の取組方針
【展開①】	・平成27年4月に指定した美濃川地区放置等禁止区域内の放置艇等を誘導・撤去 しました。 ・平成29年4月に予定している美濃川地区放置等禁止区域の拡大指定に向けて、 区域内の放置物件の現状把握をするため、通常より多く巡視を行いました。 ・新舞子ポートパークに次ぐ弥富ポートパークを、新たに港湾計画に位置付け、その 整備について検討を進めました。	・放置等禁止区域の拡大指定に伴う放置艇等の移動・撤去を着実に進めていく 必要があります。 ・新舞子ポートパークが満隻になる見込みのため、弥富ポートパークの整備 を早期に推進していく必要があります。	・放置等禁止区域の拡大指定を予定している区域内に係留している放 置艇を新舞子ポートパークへ誘導・収容していきます。 ・弥富ポートパークの整備に向けて、整備手法や施設仕様などの検討・ 調整を進めていきます。
【展開②】	・地球温暖化対策実行計画に定める取組項目について、平成26年度の集計結果を 取りまとめ、ホームページ等で公表しました。 ・港湾環境啓発活動として、環境デーなどなどの環境イベントに参加してパンフ レットの配布や名古屋港の環境への取組の説明を行うとともに、小中学校の環境学 習に協力しました。	・地球温暖化対策実行計画は、引き続き、着実に推進する必要があります。 ・環境啓発活動は、継続的に取り組み、環境意識の更なる向上を図って いく必要があります。	・温室効果ガスの排出削減に向けて、名管EMSの運用を行い、取組 の改善を図りながら、地球温暖化対策実行計画を着実に推進すると ともに、次期実行計画(平成29年度~33年度)の策定に向けて取り組んで いきます。 ・港湾環境施策を取りまとめたパンフレットを新たに作成するとともに、環 境イベントへの参加や環境学習の協力を引き続き行っていきます。
【展開③】	・国によるしゅんせつ土砂処分場計画の策定に向けて、国などと協力しつつ関係者 調整を行い、国において平成26年度に引き続き漁業影響調査が行われました。 ・平成28年3月には、国において環境影響評価法に基づく配慮書とみなす書類の国 土交通大臣送付及び公表が行われました。	・しゅんせつ土砂処分場計画の策定には様々な調整が必要のため、引き 続き、国などと協力して取り組む必要があります。	・国によるしゅんせつ土砂処分場計画の早期の策定に向けて、国などと 協力しつつ、関係者と鋭意調整を図っていきます。